



- 健康増進普及月間 1日～30日
- 障害者雇用促進月間 1日～30日
- 自動車点検整備促進運動期間 1日～10月31日
- 老人保健福祉週間 15日～21日
- 防災の日 1日 ●救急の日 9日 ●空の日 20日



川に 海に やさしい下水道

県内各地で進行中

和歌山県の下水道の普及率は、8%（平成10年3月末現在）と全国的にみて低水準にありますが、生活環境の向上と公共用水域の水質保全という観点から県内各地で下水道の整備が進められています。また、都市部だけでなく農山漁村でも集落排水事業が次々と事業化されており、住み良い環境が整備されています。



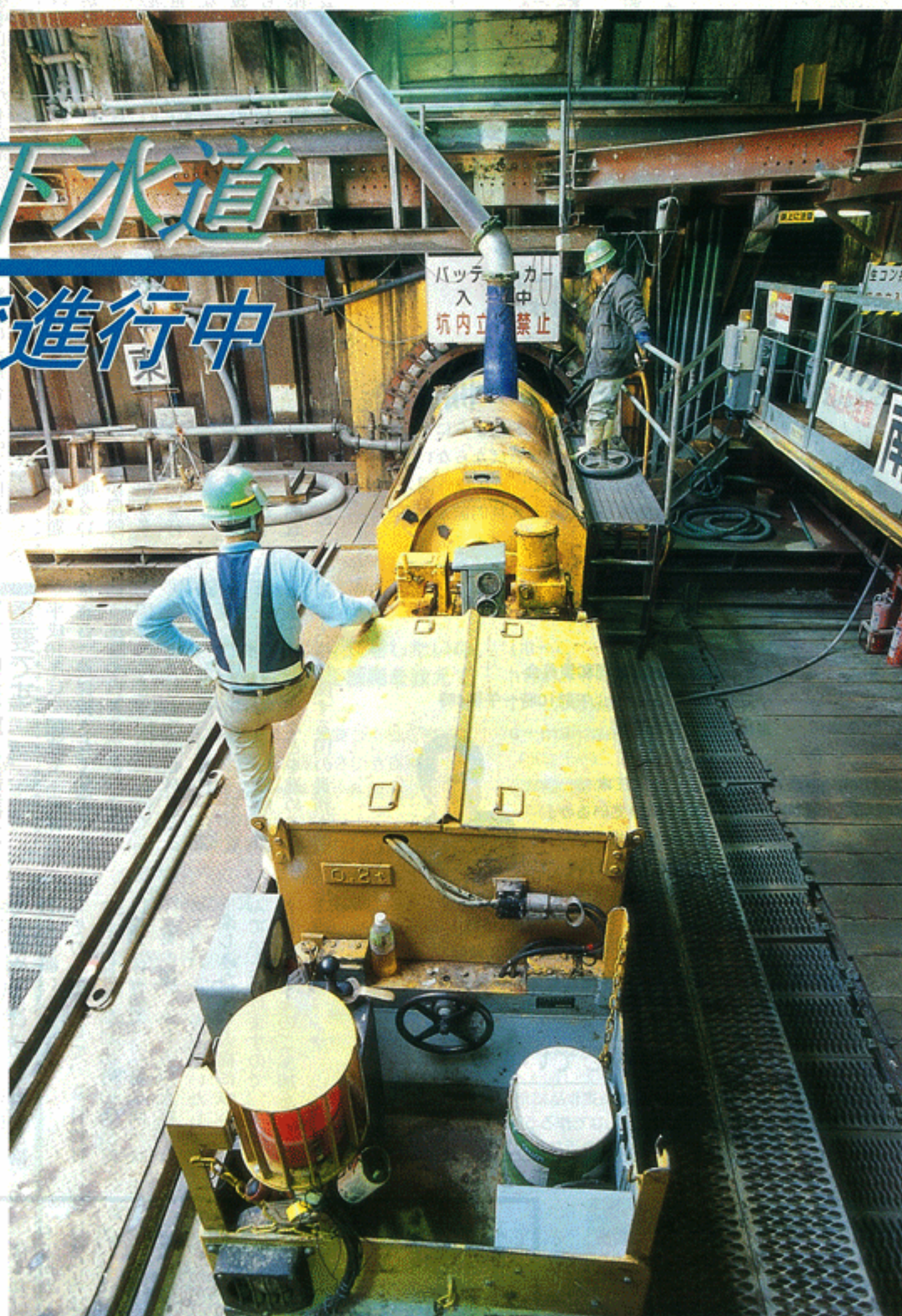
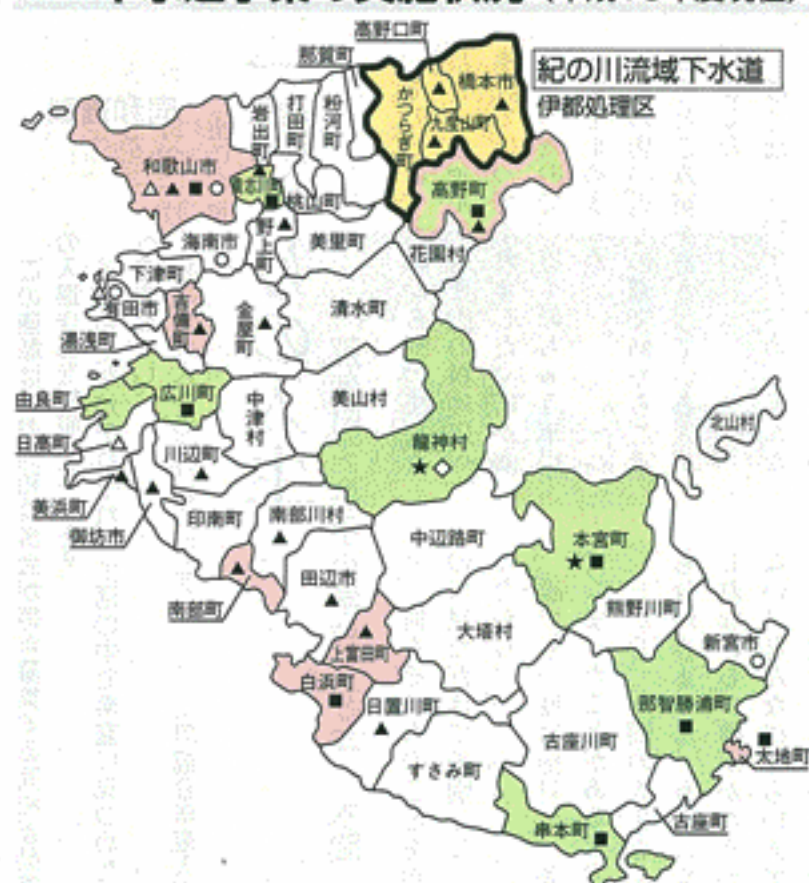
伊都浄化センター完成予想図

平成12年度の伊都浄化センター一部供用開始時には、約5,500世帯に下水道が普及します。



今年7月に行われた安全祈願祭

下水道事業の実施状況（平成10年度現在）



順調に工事が進む橋本市の流域関連公共下水道中央汚水幹線管渠工事現場。紀の川流域下水道（伊都処理区）幹線管渠は平成13年には、橋本市～かつらぎ町間の全18kmが完成する予定です。

和歌山の生活排水を考える シンポジウム

日時 10月20日（火）午後1～4時

場所 和歌山市民会館大ホール

内容 安藤和津氏の基調講演、
パネルディスカッションなど

※参加は自由、無料です

くわしくは県庁地域環境課へ



今年『世界人権宣言』50周年です 差別をなくし明るい社会をつくりましょう！

課題の早期解決に向けて

県は平成6年度に、20数年間実施してきた同和対策の成果と解決しなければならぬ課題を把握するために、同和地区実態調査を実施しました。

この調査では、これまでの取り組みの成果とともに、小規模な零細経営が多いといった産業の問題、若年層を中心に安定雇用の傾向が見られるものの中高年層を中心とした不安定就労の問題、高校進学率は、90%を越えているもののなお5%程度の較差が見られるといった教育の問題、人権問題に対して若年層を中心に無関心層の増加といった啓発の問題などの課題が明らかになりました。

まだ差別が残っています

それぞれの市町村がかかえている課題解決に向け、ともに取り組みを進めてまいります。

このような同和問題の解決に向けた積極的な取り組みにもかかわらず、差別する意図をもって賤称語などを使用し、不特定多数の人や特定の人のに向けた陰湿な差別落書き、また差別発言や結婚にかかわる差別事件が今なお発生しています。

このようなことは、同和問題の早期解決や差別のない明るい社会、一人ひとりの人権が保障されるまちづくりに取り組む多くの人々の努力を踏みにじる行為です。

県では、県民の方々の同和問題に関する意識を的確に把握するため、定期的に県民意識調査を行っております。

正しい理解と認識が重要です

平成7年度に実施した「同和問題に関する県民意識調査」では、依然として前近代的、封建的な風習・迷信などを気にしたり、こだわりを持つ人が多数見られ、同和問題の解決は重要であると考え、県民の方が多くなっていると考えますが、自分自身の問題であると考え、積極的に同和問題を解決していこうという人はまだ少ない状況です。

平成10年は、国連で「世界人権宣言」が採択されて50周年という記念すべき年でもあります。国際的にも、国内においても人権問題に対する関心が高まる中で、啓発活動の重要性が認識され、平成8年12月に、差別意識を解消し人権尊重の理解を深めるための啓発などを進めるため、人権に関する国の責務を明

らかにして同和問題をはじめとする様々な人権に関する施策を推進することを目的とした「人権擁護施策推進法」が制定されました。

県も、同和問題を正しく理解・認識することが同和問題を速やかに解決する第一歩であるとの考えで、市町村、同和委員会と一体となって啓発活動を積極的に進めてまいりますが、今後も、県民の皆さんに参加していただけるような啓発活動を進めてまいりますのでご協力をお願いいたします。

その一環として、9月12日(土)に那賀郡岩出町の岩出町民総合体育館で、「第3回ハロー『喜の国』ふれあい人権フェスティバル」を開催いたします。楽しみながら人権について学んでいただけますので、多数の県民の皆さんのご参加をお願いします。

同和連載

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子どもたちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。
(平成9年度入選作品)

一度きりの人生

那賀町 名手小学校 5年 水間 雄紀

その日は、大阪から帰ってきたおじいちゃんが焼き肉の料理店へ連れていってくれました。店が満員だったので、近くのちゅう車場へ車を止めました。

その店の近くの道で何やらごそごそとこみ箱をあさっている人がいました。

ぼくは、「いやだなあ。あんなにはなりたくないなあ。」と思いました。そういう人が、道に、二、三人いました。

ぼくは、いやだなあという気持ちとかわいそうだという気持ちでまざったような気持ちになりました。

その日は、せっかくなので料理もあまり食べられず、そのことを考えていました。そして、ぼくは、その人がやりたくてやっていると、やなくて、生きていくために仕方なくやっているものかと思いました。

さらに「守ろう人権、なくそう差別」の言葉の意味も考えました。たった十文字のかんたんな言葉なのに、守れそうで守れない、なくせそうでなくせない深い意味を持った言葉なんだなと思いました。

現にぼくは、その人のことを「あんなには、なりたくないなあ。」

と、何もその人のことを知らないのに見ただけで差別してしまったんだから。

誰でも一度は絶対に、差別をしてしまったことがあると思います。しかし、人間の人生なんて誰にも分かりません。有名になるかもしれないし、夢がかなうかもしれない。どんなにえらい人でもその人の人生なんて分かりません。人生なんて、その人にとって、一度きりの人生です。二つでも三つでもありません。たった一つなのです。

そのたった一度きりの人生をきずついたりするのが差別です。それに、差別したりすると、その人のせつなりの人生がだいなしになってしまいます。

背が小さいからとか太っているとか、まずしいからとか服着がきかないからとか、人を見かけで判断して、差別するなんて決してしてはいけないことだと思います。

ぼくが強く思うことは、「一人一人は人生があり、差別はそれをよこしている。」ということです。このまま差別がなくならなかったら、もう人間の人生は人間らしい人生じゃなくなってしまうような気がします。

世界人権宣言50周年記念イベント 第3回ハロー「喜の国」 ふれあい人権フェスティバル開催

世界人権宣言は、世界のすべての人が、生まれながらに、ひとしくかけがえない人間として尊重されなければならないとしています。しかし、今なお、同和問題をはじめ在日外国人、障害者、女性、子どものいじめ問題など様々な人権問題が存在しています。そこで、明るく親しみやすい雰囲気の中で、多くの県民の方々に参加していただき、一人ひとりの人権意識を高め、差別と偏見のない社会が早く実現できるよう、このフェスティバルを開催します。

- 主催 和歌山県・和歌山県同和委員会
- 開催日 平成10年9月12日(土) 午前10時～午後4時
- 開催場所 岩出町民総合体育館
- 内容



- 講演 ジェームス三木 「君の人生は輝いているか」
- 長編アニメ映画上映 「ピピ とべないホテル」
- 世界人権宣言50周年記念セレモニー
- 同和・人権資料展
- 高齢者疑似体験
- 啓発映画
- 啓発標語表彰
- 児童による作文発表
- 人権相談
- 共同作業場物産展・地元有志の模擬店
- 地元の農産物即売



皆様のご来場お待ちしております！

平成9年度人権啓発標語特選作品紹介
「人権を守る主役は私とあなた みんなで作ろう明るい社会」
「なくそうよ 一人ひとりの身近な差別」

同和運動啓発作文募集

- 対象 県内在学の児童・生徒
- テーマ 同和問題に関するもの。小学校については各学校で人権に関するテーマを設定。中・高校については同和問題に関する内容に限ります。
- 規格 400字詰め原稿用紙3～5枚。学校名、学年、氏名を記入。
- 発表 「作文・ポスター集23」に掲載。また、「県民の友」「県民マイク(和歌山放送)」で発表する場合があります。
- 応募は11月30日までに最寄りの市町村同和委員会へ
- ※ 応募作品は原則として返却しません。作品の著作権は主催者側に帰属し、啓発用教材として使用します。作品は未発表の創作に限ります。
- くわしくは県同和委員会 ☎(0734)41-3905へ

拝啓 県民のみなさまへ

まだまだ暑い日が続きますが、窓越しに聞こえる虫の音に秋の気配を感じます。

アジアこどもフェスティバルで幕を開けた今年の夏休み、各国・地域の子ども達による華やかで元気いっぱい民族芸能で交流の輪が広がり、子ども達にとって思い出に残る夏になったことでしょう。

ホストファミリーや通訳など八百人を超えるボランティアや関係市町村の皆さんのご協力、ありがとうございました。

しかし、和歌山市内の夏まつりでは毒物混入により、四人の方の尊い命を奪う忌まわしい事件も起こりました。故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、平穏な生活が戻りますよう念じております。地域住民の方々ははじめとす



アジアこどもフェスティバルにて

る関係者の皆さまのご心労や日頃から地域活動を支えていただいている自治会の皆さまのご苦勞を察する時、この事件に対する強い憤りをおぼえます。

昨年、日高高校中津分校の甲子園出場を契機に本県の呼びかけで実現した「全国高等学校分校サミット」二回目が先月兵庫県で開催されました。豊かな自然の中での全国約四十校の分校の仲間の出会いは、いつも新鮮で感動あふれるものです。分校や地域の活性化に向けて、サミットが今後とも大きな役割を果たすことと思っています。

和歌山県庁西口

シアトルからの手紙

海外の県人会からお寄せいただきました

米国移住の玄関口

シアトル紀州クラブ(ワシントン州)から

ワシントン州というと東部の首府を思い浮かべる方が多いと思いますが、ワシントン州は米国西海岸の北部にカナダと国境を接して位置し、面積はほぼ本州に匹敵し、シアトルは州最大の都市です。日本の皆様には、ジャンボでお馴染みのボーイング航空機社、また近年は、コンピュータのマイクロソフト社の本拠地として、全米でも最も住みやすく、活気のある町として知られています。

日本からの移住者の定着も早く、特に明治29年に日本郵船会社が最初の北米定期航路を開いてからは、中部・東部へ移った移住者の多くも、

シアトルの港に最初の足跡をのこしました。明治38年に和歌山県人会として発足した「紀州クラブ」も会を発展させられた一世の方々も亡くなられ、二世の会員も70代、80代という年齢層になられてまいりました。会の活動も、一・二世の残された伝統を、三・四世から五世に至る新しい世代に引き継ぐべく、年中行事であ



噴火で有名になったセントヘレン山国立公園にて



る新年会やピクニックといった集まりでも、若い会員やその家族に日本や和歌山の歴史、文化に関心を持ってもらうようなゲームやクイズを企画、他人種の中で祖父母、曾祖父母の国を誇りとする米国民民となつてほしいと努力いたしております。県民の皆様とも、文化、教育に限らず広い方面で米国と米国の日系人の活躍を知っていただけたら、交流の輪を広げていただけたらと望んでおります。

高齢者すこやかライフ便利帳④

「9月は喜の国いきいき長寿月間です」

今回は、高齢者の方の生きがいづくりを支援する情報をお届けします。

どについて学習します。年度途中でも、聴講生としての参加は可能です。

◆地域活動支援

高齢者の地域におけるグループ・サークル活動や、関係団体が行う生きがい・健康づくり活動等への支援を行っています。

ホームページができました!

(財)和歌山県いきいき長寿社会センターでは、今年度から新しくインターネット上にホームページを開設し、当センターが行っている行事・イベントの紹介だけでなく、各市町村ともリンクし、グループ活動・サークル活動の情報など、様々な情報を発信・収集しています。

【ホームページアドレス】

<http://www.nenrin.or.jp/wakayama>

【メールの宛先】

e-mail:waikiiki@cypress.ne.jp

〈メニュー〉

○財団の紹介

明るい長寿社会づくり推進機構の役割や、センターの行っている事業を紹介します。

○財団からのお知らせ

イベント開催案内や参加者募集のほか、入賞・結果などを紹介します。

○高齢者総合相談センター(シルバー110番)

保健、福祉、医療など各種相談のほか、施設・在宅サービス情報を紹介します。

○高齢者無料職業紹介所

高齢者の求人・求職について紹介します。

○いきいき図書館

生きがい健康づくりのニュースや図書・調査書・貸し出しビデオなどを紹介します。

○グループ活動の紹介

各地域の「生きがい健康づくりグループ」の活動を紹介します。

○ふるさと情報室

各関係団体等とリンクし、情報ネットワークを結びます。

同和運動啓発ポスター募集

対象 県内在住又は通学の方

テーマ 同和問題について社会に提言する内容のもの。個人で考えた標語又は次のいずれかの標語を使用してください。

イ)「なくそう差別 みんな一つの輪になって」

ロ)「まろう人権 なくそう差別」

ハ)「人権を守る主役は私とあなた」

ニ)「なくそうよ 一人ひとりの身近な差別」

規格 B3サイズ。画材等は自由。

発表 「作文・ポスター集23」に掲載。

「啓発ポスター展」において展示。

応募は11月30日までに最寄りの市町村同和委員会へ

※ 応募作品は原則として返却しません。作品の著作権は主催者側に帰属し、啓発用教材と

して使用します。作品は未発表の創作に限ります。

くわしくは県同和委員会 ☎(0734)41-3905へ

平成9年度 同和運動啓発ポスター最優秀作

小学生の部



那賀町立
名手小学校6年
藤原 理沙

中学生の部



岩出町立
岩出第二中学校3年
上野 由貴

高校生の部



和歌山市立
和歌山商業高等学校2年
辻村 華子

和歌山県総務部消防防災課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

☎0734-41-2262

vol. 3

防災
和歌山

福井県ロシアタンカー油流出事故での油回収作業の状況

防災ボランティアとは

和歌山県防災ボランティア登録制度において、「防災ボランティア」とは、専門ボランティア及び救援ボランティアチームをいいます。

専門ボランティアとは

震災等の大規模な災害が発生した場合に、ボランティアとして、専門的な知識及び技能を必要とする災害救援活動にあたる個人又は団体をいいます。

救援ボランティアチームとは

震災等の大規模な災害が発生した場合に、ボランティアとして、リーダーの指揮のもとに、グループで災害救援活動に従事する団体をいいます。

活動の方法は

県内で大規模な自然災害・事故等が発生して、県または県内の市町村から防災ボランティアに対する協力要請がなされると、専門ボランティアにあっては、窓口団体を通じて、救援ボランティアチームにあっては、直接にその内容を伝えます。

○専門ボランティア



○救援ボランティアチーム



報酬・補償については

被災現場に出勤した防災ボランティアは、その活動に対する報酬等を請求することはできません。なお、活動中の事故に備えて最小限の補償が得られるよう、出勤に際しては、県の負担でボランティア保険に加入していただきます。

今回募集する活動分野及び資格要件等

専門ボランティア

分野	活動内容	資格要件	申し込み・問い合わせ先 (窓口団体)
通信 ボランティア	アマチュア無線による情報通信活動	アマチュア無線 技士	(社)日本アマチュア無線連盟 和歌山県支部 〒641-0012 和歌山市紀三井寺678番地(笹井宅) ☎(0734) 44-3896
通訳 ボランティア	外国人の被災者に対する通訳活動	外国語の知識や 通訳の経験や有するもの	紀の国通訳ネットワーク 〒640-8588 和歌山市小松原通1丁目1番地1 和歌山県警察本部通訳センター内 ☎(0734) 23-0110 (内線2226)
手話 ボランティア	ろうあ者の被災者に対する支援活動	手話の知識や手話通訳の経験や有するもの	(社)和歌山県聴覚障害者協会 〒640-8034 和歌山市駿河町35番地 県身体障害者総合福祉会館内 ☎(0734) 33-4324
介護 ボランティア	避難所等における要介護者への対応、一般ボランティアへの介護指導等	介護福祉士	和歌山県介護福祉士会 〒646-0012 田辺市神島台6番1号 特別養護老人ホーム真寿苑内 ☎(0739) 22-3639

救援ボランティアチーム

分野	活動内容	資格要件	申し込み・問い合わせ先
救援ボランティアチーム	救援物資の整理・仕分け、避難所の運営補助、被災地における各種情報の収集整理等	平時において、グループを取りまとめるリーダーのもと、自立的に活動を行っている団体(概ね30名以上)	和歌山県総務部消防防災課

※専門ボランティア及び救援ボランティアチームのメンバーの年齢については、登録しようとする年度の4月1日現在で満16歳以上とします。

和歌山県防災ボランティア募集!!

阪神・淡路大震災では、多くのボランティアの方々が被災地に駆けつけて様々な分野で活躍し、大きな成果を収めました。被災地における多様なニーズに対応するうえで、ボランティアの活動が、防災関係機関を補って、重要な役割を担っていることが改めて認識されたところであり、今やボランティア活動なくしては、災害対策は語れないといっても過言ではありません。

和歌山県では、こうした状況をふまえて、防災ボランティアをあらかじめ募集・登録し、県内において大規模な災害が発生した場合に、県または現地市町村と協力して災害救援活動にあたる「和歌山県防災ボランティア登録制度」を設け、その募集を行うこととしました。

募集の締め切り

平成10年10月30日(金) までとします。
(追加登録は、締切日以降も受け付けますので、窓口団体とご相談ください。)

お問い合わせ先

〒640-8585
和歌山市小松原通1-1
和歌山県総務部消防防災課(防災航空班)
☎0734-41-2262(直通)まで

家庭の防災

その2

地震災害

私達が暮らしている日本では、過去多くの大地震が発生し、大きな被害をもたらしています。平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、私達に地震の恐ろしさを改めて教えるとともに、多くの教訓を残しました。

和歌山県は南方海域に南海トラフ、紀北地方には中央構造線があり、これまでも、南海道地震をはじめ何度も地震被害を被っています。

地震の被害を最小限にとどめるためには、どうすればよいのでしょうか？地震災害対策を「心得10か条」にまとめました。

心得
10か条

地震が発生したら

1 まず身の安全を確保しましょう

大きなけがをすると、初期消火・避難行動に支障をきたすだけでなく、精神的に不安定となります。地震が発生したときは、丈夫な机やテーブルなどの下に身を伏せたり、座布団等で頭を保護して身の安全を確保しましょう。



2 火の始末をしましょう

すばやく使用中のガス器具やストーブなどの火を消しましょう。万一、火災が発生したら、小さいうちに、あわてないで消火器などで消止めましょう。小さな揺れでもすぐ火を止める習慣を身につけておくことが肝心です。



3 あわてず徒歩で避難しましょう

車を使用すると通行の妨げになり、消火活動などに支障を及ぼすことになります。地震発生後しばらくたってから、動きやすい服装、最小限の荷物で避難しましょう。避難の際には、ガス栓やブレーカーなど火の元の確認が大切です。



車を運転しているときであれば、道路の左側に車を止めてドアロックはしないでキーを差し込んだまま、徒歩で避難してください。

4 危険な場所には近づかない

壁ぎわ、ブロック塀、がけ、海・池・川べりなどは、落下物や倒壊、崩壊、津波による二次災害のおそれがあるので、近寄らないようにしましょう。



5 正しい情報を得ましょう

災害時には、様々な情報が行き交います。その中には、正しくない情報も含まれています。テレビ・ラジオや公共機関などから、正しい情報を得ることが、的確な行動をするための第一歩です。



6 互いに協力しましょう

困っているときは、お互いに協力し合うのが基本です。老人や幼児を見つけたら、積極的に声を掛けましょう。軽いケガなどの処置は、みんなで協力し合って応急救護をしましょう。そのためにも、日頃から良好な地域関係を築いておくことが大切です。



ふだんから

7 家具等の転倒防止、ガラスの飛散防止をしましょう

けがを防ぐため、タンスなどの大型家具は金具等で固定し、ガラス窓や鏡などにはガラス飛散防止用フィルムや粘着テープをはり、棚の上には重い物、ガラス製品などを置かないようにしましょう。



8 避難場所を把握しておきましょう

いざというときのために、日頃から避難場所を確認するとともに、避難場所までのルート調べて把握しておきましょう。狭い道やがけ下などは避けるのが賢明です。



9 生活に困らない備えを用意しておきましょう

生命を維持するだけでも1人1日3リットル、それ以外にも生活用水が必要になります。ポリタンクなどに水を保存しておきましょう。また、避難先での生活に備えて、最低限度必要なものや応急手当用品などを持ち出しやすい袋(非常持出袋)に入れて準備しておきましょう。



10 防災意識を高めましょう

自治体や自主防災組織などの主催する防災訓練に参加したり、家族で地震のことを話し合ったりして防災に対する知識・意識を高めましょう。



県庁・県教育委員会への郵便は 〒640-8585〇〇〇課あて 電話は☎(0734)32-4111

「県民の友」もご覧になれる和歌山県のインターネットホームページはhttp://www.wakayama.go.jp/

INFORMATION おしらせ



特定優良賃貸住宅建設事業者

民間土地所有者等が遊休地等を利用し、一定基準に基づく中堅所得者向け賃貸住宅を建設する場合に助成措置を行います。

建設可能地域 海南市(都市計画法第7条に規定する市街化区域)

募集戸数 30戸(1団地10戸以上)
受付 10月1～31日に県庁住宅課へ
くわしくは受付先へ

環境カウンセラー

環境保全活動を行う市民や事業者に対し、自らの知識や経験を活かし、助言等を行う方を環境庁が「環境カウンセラー」として登録します。

エンジョイスポートクラブ

申込 県立体育館のスクール 9月22日までに、往復ハガキ(1人1枚、返信住所、氏名記入)にスクール名(1人2スクールまで、希望順に記入)、氏名、生年月日、年齢、住所、電話番号、学校名、学年を記入し、県教育委員会保健体育課内スポーツ課へ

スクール名	定員	実施曜日・時間	参加対象	場所	必要経費
ソフトテニス	A 40 B 40 C 40	月 10:00~11:30 月 14:00~15:30 木 14:00~15:30	原則として18歳以上	県立体育館	入会費 500円 参加費 (1スクール) 小・中学生 1,650円 一般 3,650円 保険料 450円
バレーボール	A 50 B 50 C 50	火 10:00~11:30 火 12:00~13:30 木 19:00~20:30			
卓球	A 60 B 60 C 40 D 50	木 10:00~11:30 木 12:00~13:30 金 14:00~15:30 火 19:00~20:30			
バドミントン	A 50 B 50 C 50 D 50	金 10:00~11:30 金 12:00~13:30 金 14:00~15:30 金 19:00~20:30			
ニュースポーツ	40	金 19:00~20:30			
ふれあいバドミントン	40	金 17:00~18:30	小学生から大人まで		
ふれあい卓球	40	金 17:00~18:30			
なぎなた	20	火 17:00~18:30	小1~小6		
少年新体操	40	火 17:00~18:30			
少年少女体操	40	金 17:00~18:30			
いきいき健康体操	40	月 14:00~15:30			
さわやかエアロビクス	A 40 B 40	火 10:00~11:30 木 10:00~11:30	原則として18歳以上	県立体育館補助館	
太極拳	A 40 B 40	火 14:00~15:30 金 13:00~14:30			
美容体操	A 50 B 50	木 14:00~15:30 金 10:00~11:30			
柔道	30	月・木 17:00~18:00	小1~小6	県立武道館	
剣道初級	30	月・木 17:00~18:00			
剣道修成	30	月・木 18:00~19:00	小・中学生		

青年海外派遣事業

期間 平成11年2月14～27日
訪問国 アメリカ・メキシコ
対象 日本国籍を有し県内在住の20歳以上30歳未満で青少年団体の活動を行っている方、又は行う予定の方13人(選考自己負担 21万5千円)
申込 9月30日までに各市町村青少年担当課へ
くわしくは県庁青少年課、各振興局県民行政事務課へ

資格 県内在住の方

応募 9月30日までに、小・中学生Ⅱ学校審査後各青少年育成市町村民会議、高校生・一般Ⅱ在住する青少年育成市町村民会議へ提出
くわしくは事務局 ☎(0734)41-3924へ

熊野古道ウォーク

期日 10月17日
コース JR三輪駅→高野坂→浜王子神社→宮井戸遺跡→阿須賀神社→徐福公園(JR新宮駅前)
定員 JR臨時列車利用者400人、臨時列車利用者以外300人(希望者多数の場合抽選)
締切 9月30日
申込などくわしくは臨時列車利用の場合 ☎(0734)25-6105、それ以外は ☎(0734)28-1440へ

初級バドミントン教室

期日 11月4・11・18・25日
会場 紀北青年の家(かつらぎ町)
対象 那賀郡・伊都郡・橋本市在住の18歳以上の女性30人(先着順)
申込 10月1日午前9時から電話で会場 ☎(0736)22-5530へ
くわしくは会場へ

バラグライダー

期日 10月31日・11月1日(1泊2日)
会場 紀北青年の家(かつらぎ町)
対象 高校生以上で、身長145cm以上、体重40kg・90kgの方30人(希望者多数の場合抽選)
申込 9月30日までに電話で会場 ☎(0736)22-5530へ
くわしくは会場へ

ファミリー海のつどい

期日 10月24・25日(1泊2日)
会場 白崎少年自然の家(由良町)
対象 県内在住の小・中学生とその家族15家族(希望者多数の場合抽選)
申込 電話・ファックス・ハガキで10月9日(必着)までに ☎649-1123 由良町大引961-1「海のつどい」係 ☎(0738)65-2335
1、ファックス ☎(0738)65-2352へ。住所、参加者氏名、年齢(学年)、電話番号を連絡ください。
くわしくは申込先へ

再就職希望女性の技術講習会

科目 パソコン 定員 各20人
場所 ①那賀町②上富田町
期間 ①10月27日②11月26日の月々金③11月17日④12月16日の月々金
申込 ①那賀町すこやかセンター②上富田町産業振興課 ☎(0739)47-0550
くわしくは女性就業援助センター ☎(0734)33-1181、①那賀町産業課 ☎(0736)75-3111
②申込先へ

オリエンテーリング大会

期日 10月18日午前9時
場所 紀伊風土記の丘(和歌山市)
申込 10月5日までにファックス ☎(0734)33-4408・ハガキで県教育委員会保健体育課内オリエンテーリング係へ
くわしくは申込先へ

北方領土返還要求運動の標語

ハガキ1枚に1作品とし、住所、氏名、性別、年齢、電話番号、職業を記入し、9月30日までに ☎102-0093 東京都千代田区平河町2-4-4 第一東宝ビル2階北方領土問題対策協会へ
くわしくは県庁広報広聴課へ

ふるさとフェア'99 和歌山県ブース出展者

期日 平成11年1月22～24日
場所 東京ドーム
負担金 2万円(小間料)
申込 出展申込書に必要事項を記入し、9月18日までに県庁商工振興課内県物産振興協会へ
くわしくは申込先へ



がんばろう和歌山の農林水産業応援団員募集
農林水産業・農山漁村の役割機能を理解して応援しようと思おう方、農林水産業・農山漁村について興味のある方を対象に応援団員を募集。団員全員に応援団員手帳を送付します。申込はハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、県庁農林水産課内応援団員募集係へ
くわしくは申込先へ



第31回県勤労者美術展

期日 9月17・20日
場所 勤労福祉会館(和歌山市)
部門 洋画・日本画・書・写真・彫塑・工芸・生花
くわしくは県庁労働能力開発課へ

喜の国いきいきフェスティバル
心豊かな長寿社会を築く国民の集い
期日 10月8日午後1時
場所 県民文化会館(和歌山市)
内容 松島トモ子氏の記念講演や長寿パネル展など。入場無料。
くわしくは県庁長寿社会推進課へ

国土利用計画法の届出制度

次の大規模な土地の取引をした場合に買主は土地の利用目的・取引価格等を契約締結後2週間以内に届け

出ること。①市街化区域2千㎡以上
②その他の都市計画区域5千㎡以上
③都市計画区域外1万㎡以上
くわしくは県庁水・土地政策課へ

フォーラムinわかやま 男女共生社会をめざして

期日 10月17日午後1時
場所 那智勝浦町体育文化会館
内容 秋川リサ氏の講演「今、輝いていますか」やトークコーナー
入場料 無料(入場整理券が必要)
入場整理券は各振興局県民行政事務課、県庁女性政策課にあります。
*一時保育・手話通訳希望の方は申込時に申し出てください。
くわしくは東牟婁振興局県民行政事務課 ☎(0735)22-8551へ

妊婦健康診査(初期) 費補助

同和対策事業の一環として妊娠初期健康診査費の補助を行っています。
くわしくは最寄りの保健所、各市町村へ

9月6日は「救急の日」

現在、救急医療体制として、①「かかりつけ医」などの初期救急医療機関②入院治療を必要とする重症救急患者を受け入れる二次救急医療機関③脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷など重篤な救急患者を受け入れる三次救急医療機関④「救命救急センター」があります。
初期、二次、三次の救急医療体制を維持するためには、例えば、「救命救急センター」を重症傷病者が多く利用する、重篤患者が受け入れられなくなる恐れがありますので、県民の皆様のご理解が必要です。
救急患者が発生した場合、救急車が来るまでは119番へ。救急車を呼ぶほどでもないときは、①「かかりつけ医」か、休日・夜間急患センターへ。②そこで受診できなければ最寄りの消防本部(和歌山県救急医療情報センター ☎(0734)26-1199)へ(い)救急へ

県総合健康福祉棟の名称決定！

「県民交流プラザ和歌山ビッグ愛」

名称募集の結果
最優秀賞 川村玲子さん(横浜市)
優秀賞 石川浩代さん(岩出町)
優秀賞 竹岡倫香さん(大阪市)

福祉・保健に関する機関を中心に、大ホール、会議室、宿泊施設や、レストランを設置し、利用者の利便を図っています。会議室等貸し室の予約は使用日の1年前から受け付けます。

予約は社会福祉センター
☎(0734) 23-6325へ



「つれもてしよらシートベルト」をスローガンに9月1日から2年間実施します。皆さん着用しましょう。ガス湯沸器やガスふろがまの設置は有資格者に。施工後も設置者の表示が必要です。

くわしくは近畿通商産業局 ☎(06) 941-9251へ



'98空の日フェスタ

ロック岩崎氏によるアクトバット飛行、ステイロドラム演奏、キャラクターショー、抽選会など
期日 9月26日午前10時30分
場所 南紀白浜空港(白浜町)

くわしくは県庁南紀白浜空港整備室へ

秋の全国交通安全運動(9月21~30日)
交通安全フェアわかやま'98
期日 9月23日午後1時
場所 県立和歌山交通公園・交通センター(和歌山市)

くわしくは県庁県民生活課へ

シートベルト着用推進キャンペーン「つれもてしよらシートベルト」をスローガンに9月1日から2年間実施します。皆さん着用しましょう。

ガス湯沸器やガスふろがまの設置は有資格者に。施工後も設置者の表示が必要です。

国民年金の加入手続きを

厚生年金・共済組合に未加入で20歳の誕生日を迎えたら、市町村で国民年金の加入手続きを。交付される年金手帳にはあなたの大切な年金の記録を収録するための基礎年金番号を記載しているので、大切に保管し、保険料を納めてください。

くわしくは県庁国民年金課、社会保険事務所、各市町村国民年金係へ

旅券申請窓口が新設されました

場所 〒649-4122 古座町西向193 古座保健所内
☎(0735) 72-0525
時間 午前9時~午後5時(土・日、祝日及び年末年始は休業)

特別児童扶養手当②特別障害者手当③障害児福祉手当

対象 ①20歳未満で精神又は身体に中度以上の障害のある児童を在宅で養育している父母等
②20歳以上で在宅の精神又は身体に国民年金法1級程度の障害が重複する等著しく重度の障害のある方
③20歳未満で在宅の精神又は身体に重度の障害のある児童
※所得や障害の程度による支給制限があります

くわしくは各市町村、各福祉事務所、県庁障害福祉課へ

県推奨映画
「愛をこめて」 監督 平山秀幸
「友情」 監督 和泉聖治

くわしくは県庁青少年課へ

はまゆう養護学校体験入学
期日 中・高等部 10月15日
小学部 9月18・25日、10月15・16・22・23・29日、11月5・6・12・13日のうち希望する1日
対象 来年度小・中・高等部に入学生・転入生が予想される知的障害児の幼児、児童生徒及びその保護者

財務捜査官選考採用
期日 11月8日
場所 県立和歌山北高校(和歌山市)
採用予定人員 財務捜査官1人程度
受験資格 昭和34年4月2日から昭和49年4月1日までに生まれた方で、次のいずれかに該当する方。①公認

資格免許等職員採用
期日 11月8日
場所 県立和歌山北高校(和歌山市)
試験区分及び採用予定人員 職業訓練指導員(自動車整備)1人程度、職業訓練指導員(建築)1人程度、職業訓練指導員(5人程度、臨床検査技師)2人程度、理学療法士2人程度、保健師・保健士1人程度、司書1人程度
受験資格 昭和34年4月2日以降に生まれた方。また、それぞれの試験区分ごとに資格・免許が必要となりますが、くわしくは試験案内で確認してください。

※各試験とも申込は9月25日~10月9日までに県人事委員会事務局へ(試験案内及び申込用紙は県人事委員会事務局、県バスポートセンター、各振興局県民行政部総務課、東牟婁振興局申本建設部総務管理課へ)くわしくは県人事委員会事務局へ

県立高等技術専門校
資格 高等学校卒業(見込)者又は同等以上の学力を有すると認められる者で、原則30歳以下の方
○和歌山高等技術専門校(和歌山市) ☎(0734) 77-1253
自動車工学科20人、情報マネジメント科15人、理容科20人、生産機械科15人、電子工学科15人、デザイン木工科15人、建築科20人
○田辺高等技術専門校(田辺市) ☎(0739) 22-2259
自動車工学科15人、OA経理科20人、塑性工芸科20人
○新宮高等技術専門校(新宮市) ☎(0735) 31-7329
溶接技術科15人、建築科20人
願書 各高等技術専門校、公共職業安定所にて配布、10月12~15日に受付

くわしくは県庁消防課へ

県農業大学校
学級 果樹・野菜・花きコース 40人
資格 県内在住の高卒以上
願書受付 推薦 11月17日~12月4日、一般 12月21日~平成11年1月13日
くわしくは農業大学校 ☎(073) 22-2203へ

消防設備士講習
対象 消防設備士免状取得後2年以内及び前回講習受講後5年以内
期日・場所 10月29・30日 田辺地域職業訓練センター、11月9・11・12・13日 県民文化会館(和歌山市)
受付 10月5~7日に県庁消防防災課、各振興局地域行政課へ持参
くわしくは県庁消防防災課へ

中小企業設備貸与資金
中小企業の方に代わり、機械設備を購入、長期割賦で譲渡又はリース。
一般割賦限度額 3千5百万円
リース限度額 6千万円
割賦損料及び償還方法 年2・95% 半据置後4年又は6年の均等半年賦償還
月額リース料及び償還方法 3・017~1・418% 3~7年の均等月賦償還
なお、同和地区関係中小企業の方には同和中小企業設備貸与制度があります。くわしくは(財)県中小企業振興公社設備貸与課 ☎(0734) 32-3412へ

試験

法による無料相談会
内容 県専門士業団体連絡協議会による土地・年金・税金・経営相談
期日 10月1日午前10時~午後4時
会場 和歌山市役所市民生活課内和歌山市民相談センター
くわしくは会場 ☎(0734) 32-0001へ

定所にて配布、10月12~15日に受付

くわしくは県庁消防課へ

県立高等技術専門校
資格 高等学校卒業(見込)者又は同等以上の学力を有すると認められる者で、原則30歳以下の方
○和歌山高等技術専門校(和歌山市) ☎(0734) 77-1253
自動車工学科20人、情報マネジメント科15人、理容科20人、生産機械科15人、電子工学科15人、デザイン木工科15人、建築科20人
○田辺高等技術専門校(田辺市) ☎(0739) 22-2259
自動車工学科15人、OA経理科20人、塑性工芸科20人
○新宮高等技術専門校(新宮市) ☎(0735) 31-7329
溶接技術科15人、建築科20人
願書 各高等技術専門校、公共職業安定所にて配布、10月12~15日に受付

くわしくは県庁消防課へ

県農業大学校
学級 果樹・野菜・花きコース 40人
資格 県内在住の高卒以上
願書受付 推薦 11月17日~12月4日、一般 12月21日~平成11年1月13日
くわしくは農業大学校 ☎(073) 22-2203へ

消防設備士講習
対象 消防設備士免状取得後2年以内及び前回講習受講後5年以内
期日・場所 10月29・30日 田辺地域職業訓練センター、11月9・11・12・13日 県民文化会館(和歌山市)
受付 10月5~7日に県庁消防防災課、各振興局地域行政課へ持参
くわしくは県庁消防防災課へ

中小企業設備貸与資金
中小企業の方に代わり、機械設備を購入、長期割賦で譲渡又はリース。
一般割賦限度額 3千5百万円
リース限度額 6千万円
割賦損料及び償還方法 年2・95% 半据置後4年又は6年の均等半年賦償還
月額リース料及び償還方法 3・017~1・418% 3~7年の均等月賦償還
なお、同和地区関係中小企業の方には同和中小企業設備貸与制度があります。くわしくは(財)県中小企業振興公社設備貸与課 ☎(0734) 32-3412へ

臨時福祉特別給付金の申請は11月30日までに

平成10年8月1日現在、次の①

②③の該当者の方は各市町村の民生担当窓口までご相談ください。

①高齢福祉年金や各種手当(A・I)を受給している方A高齢福祉年金B障害基礎年金等C遺族基礎年金等D児童扶養手当E特別児童扶養手当F福祉手当(経過措置)I原爆被害者諸手当等障害基礎年金等や遺族基礎年金等の受給者の一部の方は市町村民税が課税されていない方が支給対象となります。

②市町村民税が課税されていない65歳以上のお年寄りの方
③市町村民税の所得割が課税されていない65歳以上の在宅で常時介護を必要とされる方

くわしくは住所の市町村福祉担当課、県庁福祉保健総務課へ

県立医科大学の移転についてのお知らせ

平成6年度から始まった県立医科大学の新築工事も順調に進み、9月から大学部門の講義が始まります。

また、県民の皆さんにご利用いただいている病院部門は、来年5月に移転します。



県立医科大学 大学→平成10年9月
附属病院→平成11年5月(外来・入院)

新大学の連絡先
〒640-0012 和歌山市紀三井寺811番地1
☎(0734) 47-2300
※紀伊分校(進学課程)は、新大学へ移転しました。
病院の連絡先(平成11年5月に病院が移転するまで変更ありません。)
〒640-8156 和歌山市七番丁27番地
☎(0734) 31-2151

まちかどミュージアム整備補助金

一モニュメント(像)、ギャラリーなど地域の文化拠点整備に補助を行います。民間団体等が対象の整備事業(補助率3分の1、上限1,000万円、当該市町村の協議必要)及び市町村が対象の計画づくり事業に対し、経費補助を行います。申請は市町村を通じて。くわしくは県庁生活文化総務課 ☎(0734) 41-2052へ

わかやま北南
NEWS“二川温泉”で
ほかほか
気分

温泉とふるさと体験のまじりに、しみず温泉に続いて、新しい温泉が仲間入りしました。二川ダムの下流で、近隣には宿泊施設や、陶芸体験のできる施設があり、水と緑に囲まれた豊かな自然のなかでゆったり気分を満喫できます。

入浴は正午から午後8時まで。大人600円、小人300円。
くわしくは二川温泉 ☎(0737) 23-0600へ (清水町)

催し

紀南文化会館 ☎(0739) 25-3033

第27回 吹奏楽祭 9月23日 午後1時30分～

県立近代美術館 ☎(0734) 36-8690

和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3

9月15日～10月4日

○下村観山、川端龍子、野長瀬晩花、稗田一穂など、和歌山ゆかりの作家を中心に、所蔵の日本画作品を紹介します。

県植物公園緑地センター ☎(0736) 62-4029

ハスの花の写真展 9月5～27日

秋の原色押花の作り方 花の押し方まで 9月20日

作品の仕上げ 9月27日

薬草を食べよう 10月1日

庭木の剪定と手入れ 10月4日

木工教室 10月11日

秋の草木染め教室 10月15日

わかやま館 ☎(0734) 48-0070

オリジナル企画展 “大自然シリーズ第3弾”

「わかやまの大自然 ～空青し 山青し 海青し～」

わかやま館2階展示室にて、平成11年3月末まで開催

県立博物館 ☎(0734) 36-8670

特別展「中国・山東省の至宝」

9月23日～11月8日 午前9時30分～午後5時

入場は午後4時30分まで 月曜日休館

県民文化会館 ☎(0734) 36-1331

県民文化会館展示室使用申込受付ご案内

9月30日(水)に、平成11年度県民ギャラリー使用申込受付を行います。

お気軽にどうぞ

○交通事故相談

【常設相談】月～金曜日(東牟婁振興局は水曜日を除く)

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁振興局

【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 9月21日、10月5日 受付 午後1～2時 ●東牟婁振興局9月18日、10月2日 受付 正午まで

【巡回相談】●伊都振興局 9月30日 ●西牟婁振興局 10月14日

○県民相談

【常設相談】月～金曜日 場所 県庁県民相談室、各振興局

【弁護士による相談】9月25日、10月9日

場所 県庁県民相談室 受付 午前9～11時

【移動相談】●由良児童館(由良町) 9月18日

●笠田東町民会館(かつらぎ町) 9月24日 ●大池児童館(岩出町) 10月2日 受付 午後1～3時

※くわしくは ☎(0734) 41-2359(交通事故相談)、☎(0734) 41-2356(県民相談)へ

○紀の国被害者支援センター

犯罪・事故・災害などの被害者やその家族の方々を精神的に支援します。

☎(0734) 27-1000

月～金曜日 午後1～4時 木曜日 午後6～9時

那智勝浦町ゆかし湖で生息が確認されたオオウナギの幼魚



国道311号平井郷工区開通

町大瀬地内、延長1.6キロ

メイトルと、地域の林業振興とともに森林

レクリエーションへの利用が期待される広域

基幹林道小広和田川線(中辺路町野中、大塔

村和田、延長17.4キロメートル)

村和田、延長17.4キロメートル)がそ

れぞれ開通しまし

た。

(大塔村、中辺路町、本宮町)



便利さ実感
新しい道続々開通

「未知の私に出会いたい」
—第31回県民文化祭—

- 文化の秋を彩る県民文化祭。今年、「未知の私に出会いたい」をテーマに県内各地で多彩な催しを行います。ぜひご参加ください。整理券・入場券など、くわしくは県庁生活文化総務課 ☎(0734) 41-2052へ。
- 【母子の創作劇場】
●「ピノキオ」 出演 新児童劇の鑑賞。いたずらっ子ピノキオが、冒険しながらいろいろな事件に遭遇し、戦っている間に人間として成長していく姿を描いた児童文学の名作。
10月10日 午後1時 30分 県民文化会館 入場無料 (要整理券)
●県人形劇フェスティバル巡回公演(無料)
先月掲載の日時が変更になりました。ご注意ください。
9月13日午後1時 橋本市教育文化会館中央公民館
9月27日午前10時 上富田町朝来コミュニティセンター
●8ミリビデオ映画祭(無料)
10月3日午後6時 紀南文化会館
- 名月に舞う(無料)
10月3日午後6時30分 近代美術館・博物館前広場
●大舞踏会&デモンストラーション(仮称)(車椅子ダンス参加予定)
10月11日午後1時30分 片男波公園健康館 金額未定
●バンドリン Autumn Concert(無料)
10月11日午後1時30分 下津町民交流センター
●木製品と人々の暮らし(無料)
10月3日～11月23日 紀伊風土記の丘資料館
●第45回総合美術展(無料)
10月7～11日 和歌山市民会館展示室
●全日写連和歌山県本部98優秀作品展(無料)
10月1～5日 県民ギャラリー
●講座・文芸等
●表千家同門会秋期茶会
10月4日午前9時30分 和歌山市民会館 会員無料
●紀伊山脈第45集刊行記念俳句大会
10月4日正午 紀南文化会館
●文化祭茶会
10月11日午前10時 岡陽軒(予定) 田辺市高山寺 1,000円

南紀熊野体験博 ニュース

笑顔とまごころでPR キャンペーンレディ決定

南紀熊野体験博を県内外にPRするためのキャンペーンレディが決定しました。(写真左より) 正井満子さん、遠藤由美さん、山本美智子さん、直川珠子さん、鈴木香織さん、井上妃佐子さんの6人。平成11年3月31日まで博覧会の紹介や、熊野地方の魅力を多くの皆さんに知っていただくため、活動を行います。皆さんもぜひ応援してください。



マイカー使って熊野古道へ 乗用車搬送サービス

中辺路町の滝尻王子～近露王子(14.3km、徒歩約5時間30分)は乳岩、高原熊野神社、牛馬童子など往時の熊野詣気分を満喫できるルートです。乗用車搬送サービスを利用されると、滝尻駐車場に車を止め、熊野古道歩きをお楽しみいただいた後、近露王子駐車場

に運ばれているご自分の車がすぐにご利用できます。

期間 10月1日(木)～11月2日(月)(火曜休業)搬送受付は午前8時15分～正午

費用 4,000円

申込 9月2日から、午前9時～午後5時までに電話かファックスで中辺路町観光協会へ。氏名、人数、電話番号、住所、利用日、到着予定時刻、車種名、車の色、プレートナンバーをお知らせください。

☎(0739) 64-1470

ファックス (0739) 64-1480

※左ハンドル及び3ナンバーの外車はご利用できません

くわしくは中辺路町観光協会へ

公式記念品(キャラクターグッズ)製造希望者説明会

博覧会期間中、田辺新庄と那智勝浦の両シンボルパーク内に公式記念品売店を設けます。公式記念品については製造者・販売者による記念品協議会を設立予定です。下記により、協議会への入会希望者説明会を行います。

開催日・場所 9月24日＝和歌山市、9月25日＝田辺市

申込・問合せ 9月18日までに南紀熊野体験博記念品協議会(仮称)設立準備室 ☎(0734) 35-5650

南紀熊野体験博公式ホームページ開設

アドレス <http://www.aikis.or.jp/~kumahaku/>

(県のホームページ <http://www.wakayama.go.jp/>からもアクセスできます)

E-mailアドレス kuma-ta@mb.aikis.or.jp